サンフランシスコ校（幼小部・中高部）・サンノゼ校（幼小部・中高部）

# カリフォルニアの風

第８号 令和８年１１月１８日 発行
サンフランシスコ日本語補習校
校　長　　相　澤　　順

## 保護者の皆様のご理解とご協力に感謝して

１０月から約1か月にわたり、４校それぞれで実施してまいりました保護者の皆様と学級担任との個別面談が、このたびすべて終了いたしました。ご多用の中、面談にお時間を割いていただき、誠にありがとうございました。

個別面談の意義については、前々回の学校だよりでも触れましたが、お子様の学習状況や学校生活の様子について、学校とご家庭が情報を共有し、一人一人の成長や今後の課題を確認する大切な機会です。日頃の学校生活だけでは十分に把握できないご家庭での様子や、保護者の皆様が感じていらっしゃることをお聞きすることで、私たち教職員にとっても、子どもたちへの理解を深め、これからの指導や支援を考える貴重な機会となりました。今回の面談を、今後のよりよい学校生活につなげてまいりたいと思います。

また、この間、各校では授業参観も実施いたしました。保護者の皆様には、日頃の授業の様子をご覧いただき、ありがとうございました。子どもたちが日本語で学び、考え、友達と関わりながら学習する姿を通して、本校での学びの様子を感じていただけたことと思います。いただいたご意見やご感想は、私たち教職員にとって大きな励みであるとともに、自らの授業を振り返り、授業力の向上を図るための大切な機会でもあります。今後も、子どもたちが、「分かった」「できた」「もっと学びたい」と感じられる授業を目指し、教職員一同、研鑽を重ねてまいります。

さて、9月以降、各校では保護者の皆様によるさまざまな行事も開催されました。4校それぞれで行われた古本市をはじめ、中高部ではフードセールや駄菓子フェス、幼小部では秋まつりなど、趣向を凝らした催しが企画・運営され、子どもたちは大いに楽しむことができました。準備から当日の運営、後片付けに至るまで、多くの時間と労力をかけてくださった保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。

こうした行事は、子どもたちにとって、授業とはまた違った楽しみや交流の場であると同時に、日本の文化や季節の行事、食べ物、昔ながらの遊びなどに親しむ貴重な機会にもなっています。特に、海外で生活する子どもたちにとって、日本の文化に触れ、友達とその楽しさを共有する経験は、補習校ならではの大切な学びの一つであると感じています。また、学年や学級を越えた交流が生まれ、学校全体のつながりを深めることにもつながっています。

繰り返しお伝えしていますが、補習校は、週に一度の限られた時間の中で、日本語による学習や日本文化に触れる機会を大切にしながら、子どもたちの成長を支えています。その教育活動は、教職員だけで成り立つものではありません。保護者の皆様のご理解とご協力、そしてさまざまな場面での温かいお力添えがあってこそ、充実した学校運営が可能となります。日々の送迎や家庭での学習支援はもちろん、今回ご紹介したような行事の企画・運営など、一つ一つのご協力が本校の大きな支えとなっています。

これからも、学校とご家庭がそれぞれの役割を大切にしながら、子どもたちの成長をともに見守り、支えていければと願っております。保護者の皆様には、引き続き本校の教育活動へのご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



【10/10 秋まつり。みんなで仲良く金魚すくい：幼小SJ】



【10/17 古本市。「読みたい本がいっぱ～い」：中高SF】



【10/24参観の様子。親子で一緒にサイコロづくり：幼小SF】



【11/7 駄菓子フェス。２部制になり、ゆっくり買えます：中高SJ】

**授業風景より**　**全校ビブリオバトルに向けて：中高SF校**

10月から、「振り返りタイム」の時間を活用し、全校生徒が参加して取り組むビブリオバトルの準備を行っています。現在、図書室より自分が選んだ本を紹介するために、本に付箋をつけながら、選んだ理由や好きな登場人物・場面・言葉、また、本からの学びなどを書き出し、２分間の発表の練習に入るところです。自ら日本語で考え、表現し、発表する絶好の機会になります。学級予選会（12/5）全校大会(12/12)、生徒の皆さんの頑張りを楽しみにしています。



発表に向けてアイデアを共有中



「宿題サポート」で異学年交流

**活動風景より**　**「自分たちの力で‥」児童会の取組：幼小SJ校**

後期児童会委員の活動として、ヤードでは「じゃんけん列車」、中庭では「宿題サポート」の２つの企画を立ち上げました。実施日の２週間前から、委員たちは自作の活動宣伝ポスターを持って、朝の開門時や昼休みに校庭で呼びかけました。当日はヤードで楽しそうに遊んだり、宿題へのアドバイスを真剣に受けたりする児童の姿が見られました。児童会委員の主体的な取り組みが進んでいます。




優秀作品は全体朝会で表彰されました

**昼休みの風景より**　**「力作ぞろい！」創作漢字コンクール：中高SJ校**

中高SJ校、国語科教員のアイデアで、昼休みや保護者面談中の待ち時間を利用して、創作漢字コンクールを実施。興味をもった生徒たちが自由な発想で思い思いの作品を創作し、集まった作品は50点を超えました。選ばれた優秀作品は、「なるほど！」とうなずけるものばかりで、生徒たちの豊かな発想力に感心しました。実際の漢字の部首やつくり、意味などを理解する上でも効果的な活動となりました。

**教員研修の風景より**　**「先生たちも勉強しています！」提案授業：幼小SF校**

授業参観後に、保護者様からいただいたアンケートには「グループワークがよかった」「子どもの意見を否定せずに受け入れてくださるのがよかった」「子どもの考えを引き出す質問がよかった」など嬉しいご意見がありました。

教員も、他の教員の授業を見て、良い点や課題を一緒に考えながら勉強しています。この日は2年の学級で提案授業がありました。小道具を出すタイミングや小声でクラスをまとめる技術を目の当たりにし、放課後の事後研では、自分の授業でも取り入れてみたいという熱心な声が聞かれました。これからも学び合いを重ね、子どもたちの「わかった！」「楽しい！」を引き出す授業に努めます。



教頭による提案授業の様子